Tokuyama College			Year 2017			Course Title			
Course	Informa	tion							
Course Co	ode	0091			Course Category		ed / Compulsory		
Class Forr	mat	Experime				School C	redit: 4		
			ent of Computer Science and Engineering		Student Grade 3rd				
Term		Year-rour			Classes per Week 4				
Textbook	and/or	教科書:	- 「電子工学実験指導						
Instructor	<u>Materials</u>			a Atsuhiko,Murotani Hideaki					
	Objectiv	. ,	a Atsuriko, Murc	Jean Hideaki					
					学との関連性に気付 行する能力である。	き (予習態度)	、実際に手を動かして(実験態度		
Rubric									
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
授業態度			実験やグループワーク推進の原動 力になった		実験やグループワークを助けた		実験またはグループワークの妨げになった		
報告書の内容			全レポートを期限内に提出した		 体裁が整っている		体裁が整っていない		
報告書の提出			全レポートを期限内に提出した		レポートを,一部遅れながらも全		未提出のレポートがある		
					部提出した	木佐山のレバートがある			
		tment Obj	jectives						
到達目標 E		<u>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>							
reachin	ng Metho				との其木的か動作を	主輪に トヘアー	分に理解する 冬講業で学んだ理論		
Outline		を実験を通、さらに、	通して実証し、あれ 研究課題によって	生、電子回路の動作および電算回路の基本的な動作を て実証し、あわせて測定装置の理解と測定技術を習得 な課題によって関連技術の理解を深める。			験と理論の関係づけを検討・考察し		
Style		設計およて 法を学ぶ。 24テーマ テーマの実	、主に、回路素子の特性、回路の動作、計測装置を用いた測定方法の実験を行う。後期では、さらに、回路のび部分的な製作を含む電子回路の動作特性を測定する。また、マイコンの操作方法および入出力による制御方。前期、後期において、以下に示すそれぞれのテーマについて3~4人の班編成により実験を行う。下記マ(24週)以外の時間は、実験に関するガイダンスやレポート指導などを行う。前期は、全ての班が同じ実験を行い、基本的な実験に対する能力を段階的に養う。後期は、前期で学習した能力を基に、下記のテーマローテーションでテーマを変えて実験を行う。						
Notice		前期は、杉シートで評	変実験ごとに評価: 平価する内容は、至	シートを提出すること	と。この評価シート態度・実験態度・れる	おーと作成とす	均したものを最終評価とする。評価 る。評価シートの様式や使用法は、 参考として、皆さんの前期のレポート		
		を教員が扱	K点すると何割程	度の得点になるかを後	後期授業開始までに	通知する。			
Course	Plan	1			1-				
		t t	Γheme ガイダンス		G	Goals			
			<u>がイタンス</u> オシロスコープの(オシロスコープの使い方が理解できる。			
						電子部品(抵抗)の材料や製法、用途について理解			
		3rd	電子部品1(抵抗	電子部品1(抵抗) 		る。			
	1 ct	l	電子部品 2 (コンデンサ・コイル)						
	1st Quarter	4th	電子部品 2 (コン	デンサ・コイル)	事		デンサ、コイル)について材質、耐圧		
				デンサ・コイル) 測定(RC直列回)	電、	子部品(コンラ 精度などを理解	デンサ、コイル)について材質、耐圧		
		5th		測定(RC直列回)	電、	子部品(コンラ 精度などを理解 ロンデンサの特性	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。		
		5th 6th	コンデンサの特性 オシロスコープの	測定(RC直列回)	名。	子部品(コンラ 精度などを理角 Iンデンサの特性 種信号波形をス	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 生(RC直列回路)が理解できる。		
1st		5th 6th .	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス	測定(RC直列回) 使い方のテスト 応答と周波数応答	電 人 名。 R。	子部品(コンラ 精度などを理角 リンデンサの特性 種信号波形をス C回路のパルス	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 生(RC直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる ス応答および周波数応答が理解できる		
1st Semeste r		5th 6th 7th 8th 2	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特!	測定 (RC直列回) 使い方の テスト 応答と周波数応答	電、 コ 各。 R。 各	子部品(コンラ精度などを理解 オ度などを理解 リンデンサの特性 種信号波形をス ・ で回路のパルス ・ 種ダイオードの ・ ・ ・ ボーラトラン	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 性(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる ス応答および周波数応答が理解できる の特性を実験を通して理解できる。 レジスタとMOSFETの基本増幅回		
Semeste		5th 6th 7th 8th 9th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特! トランジスタ、F	測定 (RC直列回) 使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性	電、 コ 各。 R。 各 バ路	子部品(コンラ精度などを理解 コンデンサの特性 種信号波形をフ ・	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 性(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる な応答および周波数応答が理解できる。 か特性を実験を通して理解できる。 シジスタとMOSFETの基本増幅回 定理解できる。 ランジスタを用いた基本論理素子の回		
Semeste		5th 6th 7th . 8th . 9th . 10th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス ダイオードの静特 トランジスタ、F ダイオード、トラ	測定(RC直列回) 使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論	電、	子部品(コンラ精度などを理解 オ度などを理解 ルンデンサの特性 種信号波形をス ・	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 性(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる な応答および周波数応答が理解できる の特性を実験を通して理解できる。 ジスタとMOSFETの基本増幅回 定理解できる。 ランジスタを用いた基本論理素子の回 が作が理解できる。		
Semeste	Quarter	5th 6th 7th 8th 9th 10th 11th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特 トランジスタ、F ダイオード、トラ I Cによる論理回	測定(RC直列回) 使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論	電、 一名。 名。 名。 名 八路 理回路 耳回路	子部品(コンラ 精度などを理解 リンデンサの特性 種信号波形をフ C回路のパルフ 種ダイオードの で制作し動作を バイオード、その動 で制作しよる論理 Cによる論理	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 住(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる な応答および周波数応答が理解できる の特性を実験を通して理解できる。 ジスタとMOSFETの基本増幅回 理解できる。 ランジスタを用いた基本論理素子の回 が理解できる。 の動作を理解できる。		
Semeste		5th 6th 7th 8th 9th 10th 11th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス ダイオードの静特 トランジスタ、F ダイオード、トラ	測定(RC直列回) 使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論	電、 コ 各。 R。 名 八路 学路 I 上解	子部品(コンラ精度などを理解 オ度などを理解 シデンサの特性 種信号波形をラ ののパルラ を対イオードの では、フラも では、シラを でに、シラを に、こことを では、こことを では、こことを では、こことを では、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまとを でいまして、ことを でいまして、ことを でいまして、ことを でいまして、ことを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまと	デンサ、コイル)について材質、耐圧なできる。 主(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる な応答および周波数応答が理解できる の特性を実験を通して理解できる。 ジスタとMOSFETの基本増幅回 理解できる。 ジンジスタを用いた基本論理素子の回 が作が理解できる。 回路の動作を理解できる。		
Semeste	Quarter	5th 6th 7th 8th 9th 10th 11th 12th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特 トランジスタ、F ダイオード、トラ I Cによる論理回	測定(RC直列回) ゆ使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論 路	電、 口名。 R。 名 八路 夕路 I 卜解 才	子部品(コンラ精度などを理解 オ度などを理解 シデンサの特性 種信号波形をラ ののパルラ を対イオードの では、フラも では、シラを でに、シラを に、こことを では、こことを では、こことを では、こことを では、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまして、こことを でいまとを でいまして、ことを でいまして、ことを でいまして、ことを でいまして、ことを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまとを でいまと	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 住(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる な応答および周波数応答が理解できる の特性を実験を通して理解できる。 ジスタとMOSFETの基本増幅回 理解できる。 ランジスタを用いた基本論理素子の回 が理解できる。 の動作を理解できる。		
Semeste	Quarter	5th 6th 7th . 8th 9th 10th . 11th . 12th . 13th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特! トランジスタ、F ダイオード、トラ: I Cによる論理回! J信号増幅回路	測定(RC直列回) ゆ使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論 路	電、 コ 名。 R。 名 バ路 夕路 I ト解 オで	子部品(コンラ精度などを理解 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	デンサ、コイル)について材質、耐圧なできる。 主(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる な応答および周波数応答が理解できる の特性を実験を通して理解できる。 ジスタとMOSFETの基本増幅回 理解できる。 ジンジスタを用いた基本論理素子の回 が作が理解できる。 回路の動作を理解できる。		
Semeste	Quarter	5th 6th 7th . 8th 9th 10th . 11th . 12th . 13th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特/ トランジスタ、F ダイオード、トラ: I Cによる論理回 小信号増幅回路 オペアンプの基礎:	測定(RC直列回) ゆ使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論 路	電、 コ 名。 R。 名 バ路 夕路 I ト解 オで	子部品(コンラ精度などを理解 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 性(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる な応答および周波数応答が理解できる。 の特性を実験を通して理解できる。 シジスタとMOSFETの基本増幅回 を理解できる。 ランジスタを用いた基本論理素子の回 が作が理解できる。 国路の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。		
Semeste	Quarter	5th 6th 7th . 8th 2 9th 10th 2 11th 12th / 13th 2 14th 15th 16th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特! トランジスタ、F ダイオード、トラ: J C による論理回記 小信号増幅回路 オペアンプの基礎: 自己採点確認	測定(RC直列回) ゆ使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論 路	電、 コ 名。 R。 名 バ路 夕路 I ト解 オで	子部品(コンラ精度などを理解 に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 性(R C 直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる な応答および周波数応答が理解できる。 の特性を実験を通して理解できる。 シジスタとMOSFETの基本増幅回 を理解できる。 ランジスタを用いた基本論理素子の回 が作が理解できる。 国路の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。 別の動作を理解できる。		
Semeste	Quarter	5th 6th 7th . 8th 2 9th 10th 2 11th 12th / 13th 2 14th 15th 16th	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特/ トランジスタ、F ダイオード、トラ: I Cによる論理回 小信号増幅回路 オペアンプの基礎:	測定(RC直列回) ゆ使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論 路	電、 コ 各。 R。 名 / バ路 夕路 I ト解 オで自	子部品 (コンラ 精度などを理解 コンデンサの特性 種信 国路 のパルン を (イートラート) (イートリートリートリートリートリートリートリート) (イートリートリートリートリート) (イートリートリート) (イートリートリート) (イートリートリート) (イートリート) (イートリートリート) (イートリートリートリート) (イートリートリートリートリート) (イートリートリートリートリートリート) (イートリートリートリートリートリート) (イートリートリートリートリートリート) (イートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリートリー	デンサ、コイル)について材質、耐圧なできる。 主(R C直列回路)が理解できる。 オシロスコープ上で正確に測定できる。 な応答および周波数応答が理解できる。 の特性を実験を通して理解できる。 ジスタとMOSFETの基本増幅回 理解できる。 ジンジスタを用いた基本論理素子の回 が作が理解できる。 別路の動作を理解できる。 別路の動作を理解できる。 別路の動作を理解できる。 別ないます。		
Semeste	Quarter	5th 6th 7th . 8th 2 9th 10th 2 11th 12th 13th 2 14th 15th 16th 1st	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特! トランジスタ、F ダイオード、トラ: J C による論理回記 小信号増幅回路 オペアンプの基礎: 自己採点確認	測定(RC直列回) ゆ使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論 路	電、コー各。 R。 各 パ路 夕路 I ト解 オで 自	子部はどを理解にいます。 おきなどを理解にいます。 は、とのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	デンサ、コイル)について材質、耐圧なできる。 主(R C直列回路)が理解できる。 たシロスコープ上で正確に測定できる。 な応答および周波数応答が理解できる。 かジスタとMOSFETの基本増幅回と理解できる。 のができる。 のができる。 のがでは解できる。 のが、理解できる。 のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、の		
Semeste	2nd Quarter	5th 6th 7th 8th 9th 10th 12th 13th 14th 15th 16th 1st 2nd	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特! トランジスタ、F ダイオード、トラ: I Cによる論理回! 小信号増幅回路 オペアンプの基礎! 自己採点確認	測定(RC直列回) ゆ使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論 路	電、コー各。 R。 各 パ路 夕路 I ト解 オで 自	子部はどを理解にいます。 おきなどを理解にいます。 は、とのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	デンサ、コイル)について材質、耐圧 なできる。 性(R C直列回路)が理解できる。 サシロスコープ上で正確に測定できる。 な応答および周波数応答が理解できる。 シジスタとMOSFETの基本増幅回 を理解できる。 ランジスタを用いた基本論理素子の回 が作が理解できる。 別路の動作を理解できる。 別路の動作を理解できる。 別なの動作を理解できる。 別なの動作を理解できる。 別なの動作を理解できる。 別なの動作を理解できる。 別なの動作を理解できる。 別なの動作を理解できる。 別なの動作を理解できる。 別ないて実験を通して確認理解できる。		
Semeste r	2nd Quarter	5th 6th 7th 8th 9th 10th 12th 13th 14th 15th 16th 1st 2nd 3rd	コンデンサの特性 オシロスコープの RC回路のパルス/ ダイオードの静特! トランジスタ、F ダイオード、トラ: I Cによる論理回! 小信号増幅回路 オペアンプの基礎: 自己採点確認 回路網 共振回路	測定(RC直列回) ゆ使い方の テスト 応答と周波数応答 性 E Tの直流特性 ンジスタを用いた論 路	電、コ 各。 R。 各 パ路 夕路 I ト解 オで 自 回 L 電。 L	子部は ・	デンサ、コイル)について材質、耐圧なできる。 主(R C直列回路)が理解できる。 たシロスコープ上で正確に測定できる。 な応答および周波数応答が理解できる。 かジスタとMOSFETの基本増幅回と理解できる。 のができる。 のができる。 のがでは解できる。 のがたが理解できる。 のがたが理解できる。 のがたが理解できる。 のがたが理解できる。 のがたが理解できる。 のがたが理解できる。 のがたが理解できる。 のがたが理解できる。 のがたりでは、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが		

		6th	マルチバイブレータの基礎実験のデータ整理			無安定マルチバイブレータ、単安定マルチバイブレー タの動作を理解できる。			
		7th	マルチバイブレータの基礎実験の理解度チェックインタビュー			無安定マルチバイブレータ、単安定マルチバイブレー タの動作を理解できる。			
		8th	カウンタ回路			カウンタ I C回路を用いて24時間時計を制作しカウンタ回路の動作を理解できる。			
	4th Quarter	9th	ワンボードマイコンの操作法および入出力法			ワンボードマイコンの使用法について基本的な操作法 が理解できる。			
		10th	ワンボードマイコンによるステッピングモーターの制 御			ワンボードマイコンを用いてステッピングモータの制 御の原理が理解できる。			
		11th	ワンボードマイコンによる L E D表示			ワンボードマイコンによりLED表示の制御方法が理解できる。			
		12th	PICを用いたフルカラーLED制御			PICを用いたLED制御方法が理解できる。			
		13th							
		14th							
		15th							
		16th							
Evaluati	ion Meth	nod and \	Weight (%)						
	レフ	ポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total	
Subtotal :		0	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力 :		0	0	0	0	0	0	100	
専門的能力	0		0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力			0	0	0	0	0	0	